


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・創業以来の「経営理念」に加えて、2018年に「大宝堂クレド」を策定している。「クレド推進委員会」という社内委員会が中心となって、会社をより良くするための取り組みを全社員で推進している。 ・年に1回「クレドアワード」を開催し、社員のモチベーションアップにも繋げている。								8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規程があるとともに、社内の情報共有アプリにて、法令遵守の重要性を随時全社に発信・共有している。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、全社員に向けて、その重要性を発信している。																			10	16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		総務課および本部会議にて現在行っている(今後行う)活動について社会や環境に対してマイナスになっていないか(ならないか)を十分に審議した上で、実施するようにしている。																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		店頭での告知やWEB・SNSでの情報発信の際に、著作権等の知的財産を侵害していないか、随時本部にてチェックを行っている。								8.2 8.3	9										16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客データが記載された印刷物は各店舗・部署にて適切に処理している。 ・顧客データを管理するPOSシステムの問題で情報が漏洩しないよう、システムのメンテナンスを随時実施している。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・購入されたお客様に「お客様アンケート」を配布して、そこで得られた要望や苦情に対して、随時対応している。 ・お客様から直接いただいたご要望やご意見を毎月全社でまとめて、その中から全社検討事項を本部にて検討・対応している。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																9		11			13.1	16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		税理士事務所を交えて「事業承継税制」を活用した事業承継を進めている。(2025年完了予定)									8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								5				8						12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を設置している。(総務課 ハラスメント担当者)					4.3 4.4 4.5			5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8						10.2 10.3	16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。						3								8.8							
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・嘱託社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、2021年3月に就業規則を改定、また、嘱託社員の就業規則を新規策定し、ガイドラインに沿った体制の整備・運営を行っている。								5.5						8.5					10.2 10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・オンライン勤怠システムを用いた残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、4日連休が取得できる「リフレッシュ休暇」制度を導入している。また、ボランティア活動への積極的参画や自己啓発活動などの環境を整備している。 ・育児休暇の取得を奨励し、復帰後に短時間勤務で働くことができる期間を延長する就業規則の改定を実施している。							3		5.5					8.5 8.8					10.3		
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励しており、眼鏡作製技能士等の専門資格の取得システムがあり、取得費用の補助や、取得時のお祝い金を支給している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を専門のコンサルタントの協力のもと定期的に実施している。								4	5.5					8	9						
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼や月次ミーティング時に健康管理および交通事故等への注意喚起を実施している。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、スポーツを行うことを推奨している。 ・健康診断を実施している。また、40歳から70歳まで5年毎に「人間ドック」受診を実施している。								3							8						17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		採用や業務運営・昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。									4.4	5.1 5.5				8.5					10.2 10.3	16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		ウェブ会議システムを積極的に活用している。(社内会議、商談、研修会など)										3				8	9.1			11	12		
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・経理・会計・労務部門のデジタル化を推進し、紙ベースでの業務を削減している。 ・オンラインショップを開業し、店頭以外にWEB上でも購入ができるようにしている。 ・2025年までに年間売上500万を目標に活動している。															8	9.1			11	12	
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																		8	9				12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。 ・2019年よりエアコン室外機の熱交換効率を高める資材を導入し、消費電力を導入前と比べて約15%削減している。また、上通本店は2022年10月に省エネタイプの空調に入替を実施し、導入前より電力量を22.3%削減することができた。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、CO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・店舗照明のLED化を推進しており、現在4店舗のLED化が完了している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、印刷済みの紙の裏面の再利用を促進している。 ・配送の際の段ボール、封筒等、紙製品の再利用を促進している。 ・お客様の不要になった眼鏡を回収し、仕分けをして一部は金属加工業者に送ってリサイクルに、また、一部はライオンズクラブを通じて発展途上国に寄贈している。 ・補聴器について、お客様に対して従来の電池式タイプから充電式への切り替えを積極的に提案している。 ・ボタン電池の回収協力缶を設置している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・【予定】2025年3月までに事業所内設備に節水器具を設置する。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。 ・(備品購入時)環境に配慮した商品やリサイクル製品の購入を奨励している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

